

県内企業の仕事と子育ての 実態調査

徳島文理大学総合政策学部
准教授 水ノ上智邦

県内企業の仕事と子育ての実態調査

- 事業内容
- ヒアリング調査
- アンケート調査
- 調査を終えて

事業内容

- 「子どもとの時間が十分に取れていない」
・・・約5割
- 仕事と子育ての実態調査
（ヒアリング調査, アンケート調査）
- 仕事と子育てやりくりアイデア

ヒアリング調査

期間：2020年10月～翌年1月

**対象：「徳島はぐくみ支援企業」を
中心とした16社**

ヒアリング調査

「働き方改革」が浸透

- 残業時間は少ない
- 女性の育休取得は当たり前
- 男性の育休取得に積極的企業も
- 中小企業でも環境整備
- 認証取得にメリット

ヒアリング調査

育休取得のポイント

- 業務の棚卸しと非属人化
- 上司からの積極的推奨
- 現場からの意見の汲み上げ
- 職場の雰囲気作り
- ICTの積極的導入

ヒアリング調査

男女間格差の解消は道半ば

- 男性の育休取得はまだ限定的
- マミートラック
- 業界により男女比は大きく異なる

ヒアリング調査

「男性の子育て応援をする事で、女性も働きやすくなると思います。今は子供の体調不良は母親が面倒をみるし、仕事をセーブし、時短勤務をするのは母親です。少々偏りを感じます。もっと男女共に子育てできる風潮であればと思います。」

ヒアリング調査での会話より

アンケート調査

期間：2020年12月～翌年2月

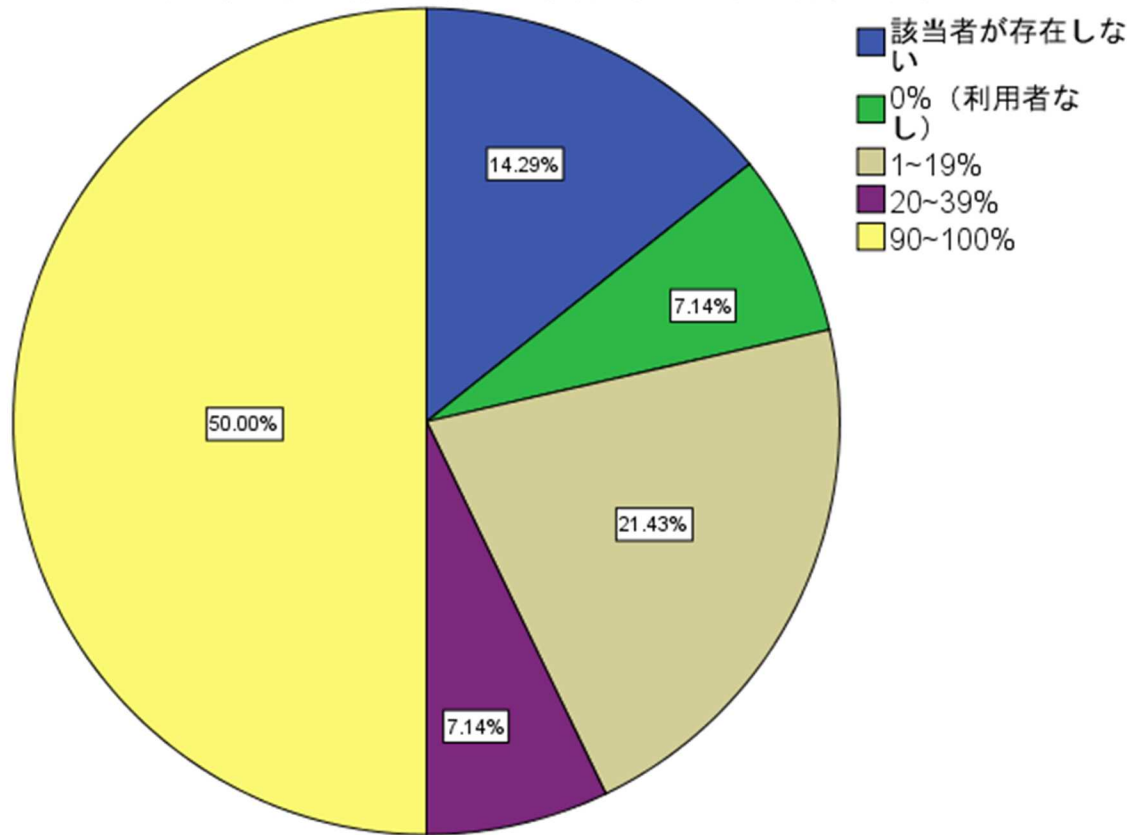
**対象：ヒアリング企業，徳島経済同友会
徳島中小企業家同友会**

方法：インターネットでの回答

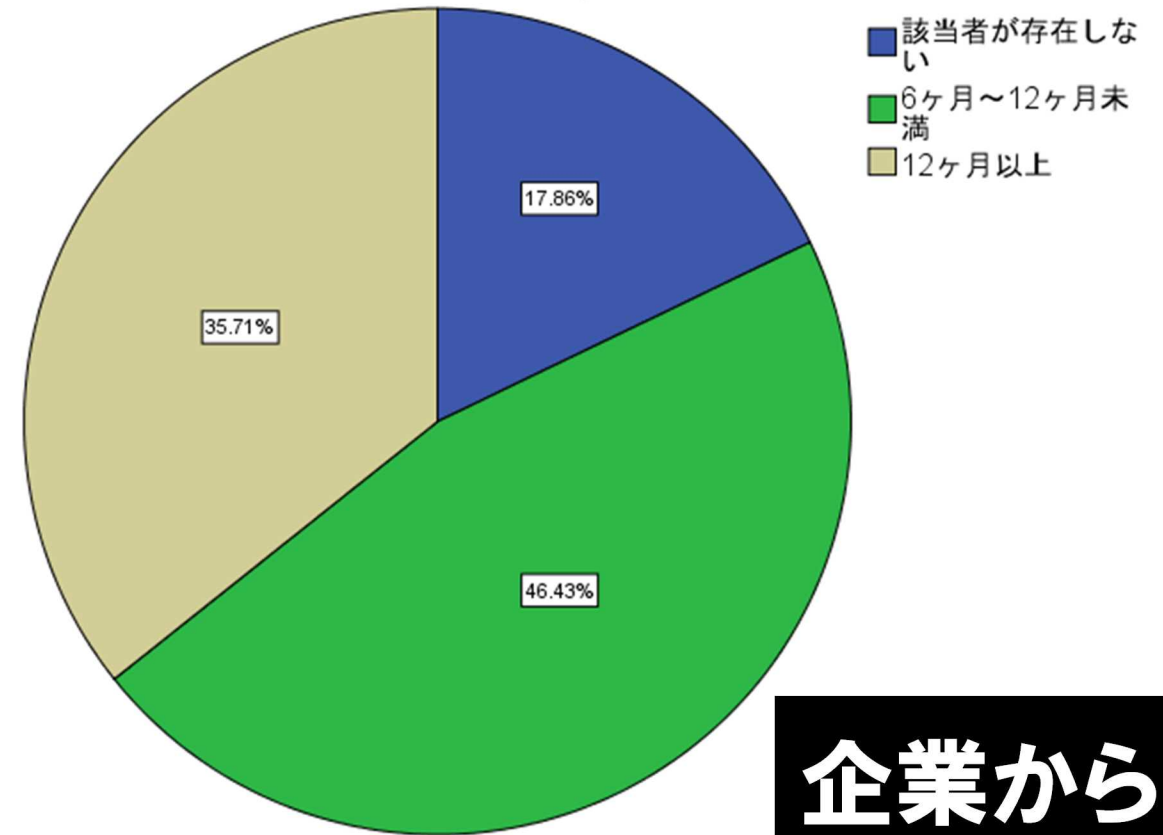
種類：企業向け，従業員向け

女性の育休取得に大きな格差

8. 過去3年間の貴社の「女性の育児休業制度の利用率」はおおよそどの程度ですか。（育児休業制度の対象者に占める利用者数の割合）



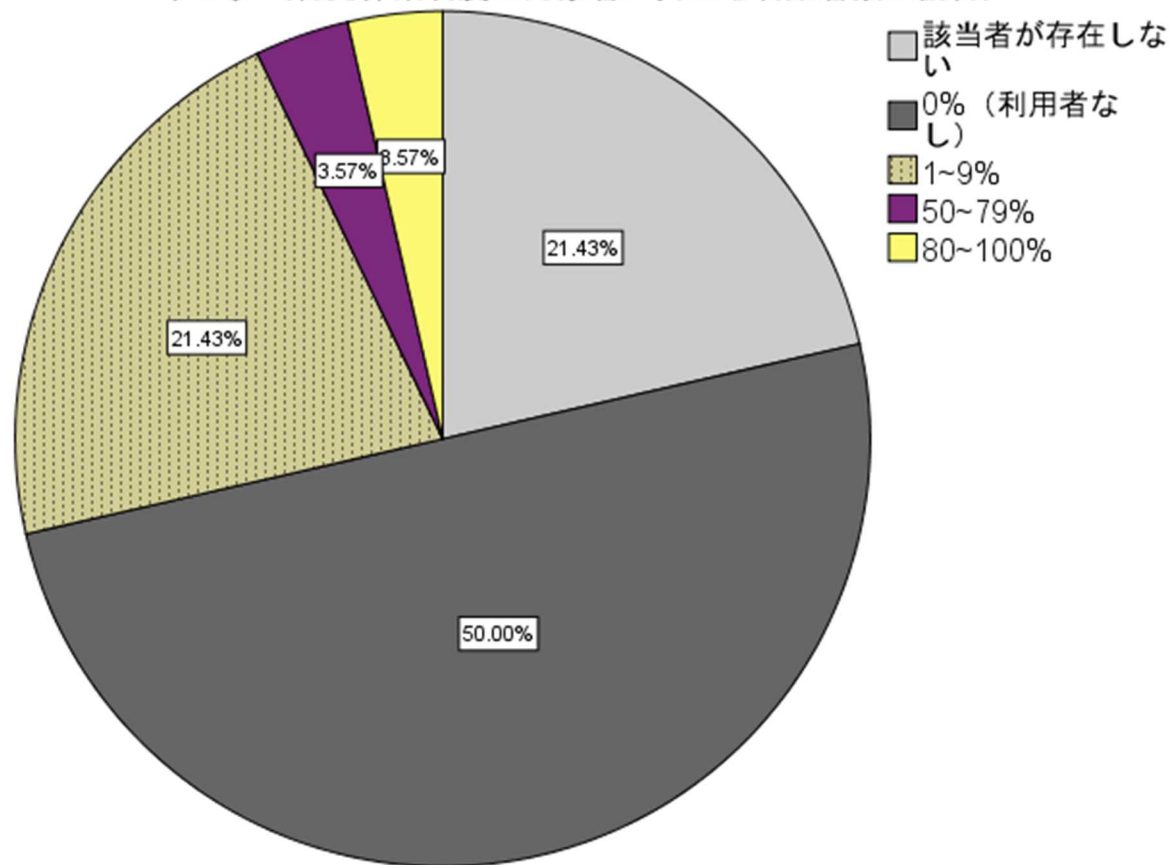
9. 育児休業制度を利用した女性の平均的な取得日数はおおよそどの程度ですか。



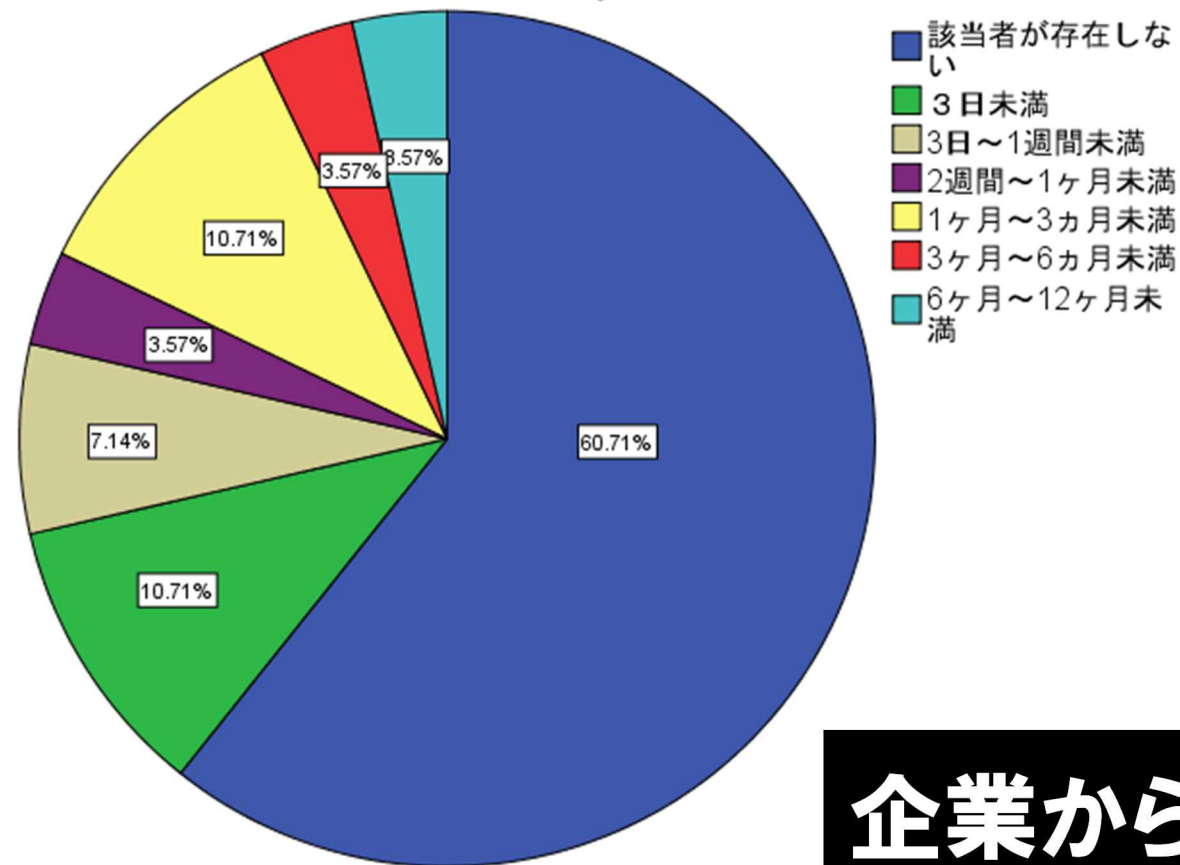
企業からの
回答

男性育休取得実績が有るのは企業の約3割

10. 過去3年間の貴社の「男性の育児休業制度の利用率」はおおよそどの程度ですか。（育児休業制度の対象者に占める利用者数の割合）

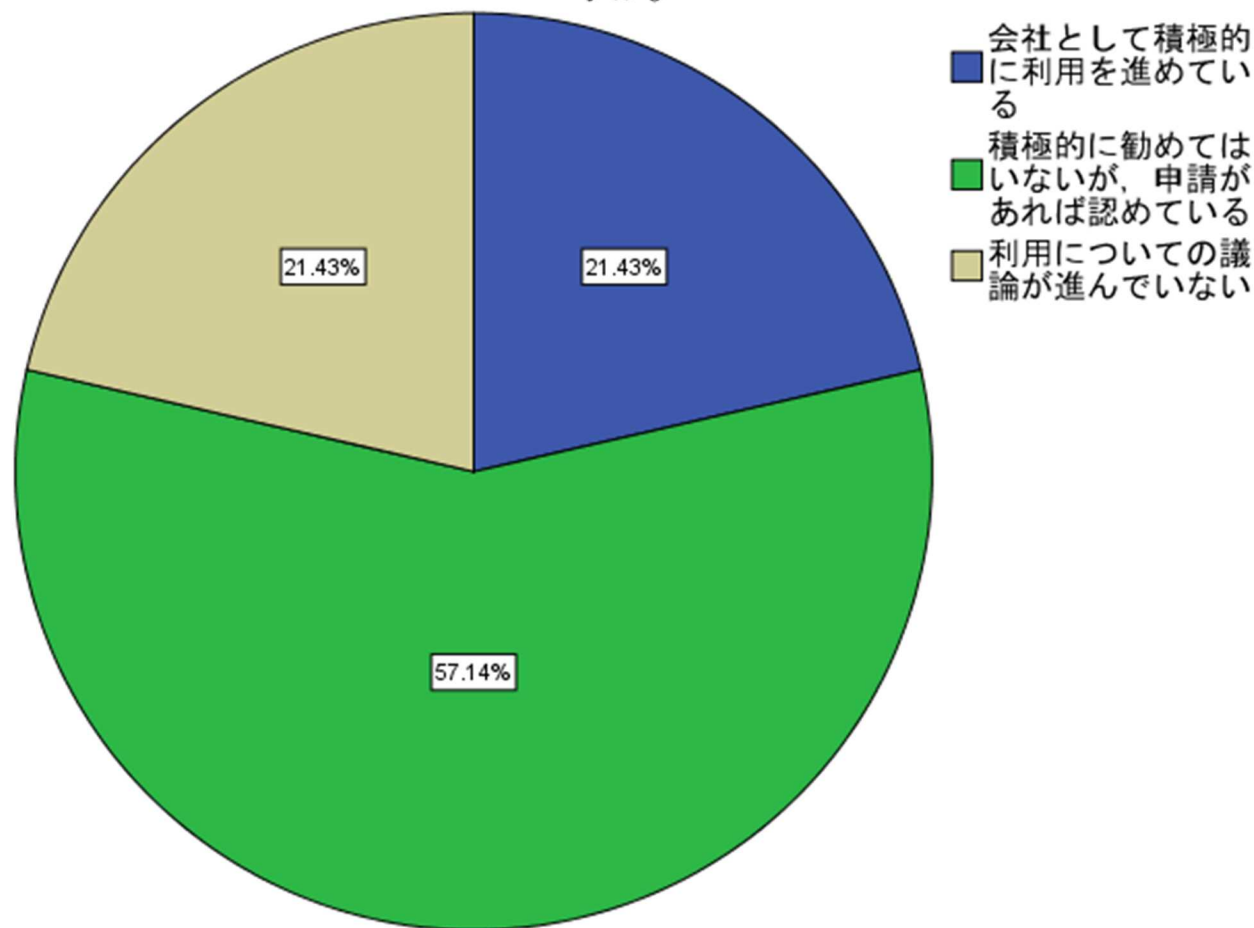


11. 育児休業制度を利用した男性の平均的な取得日数はおおよそどの程度ですか。



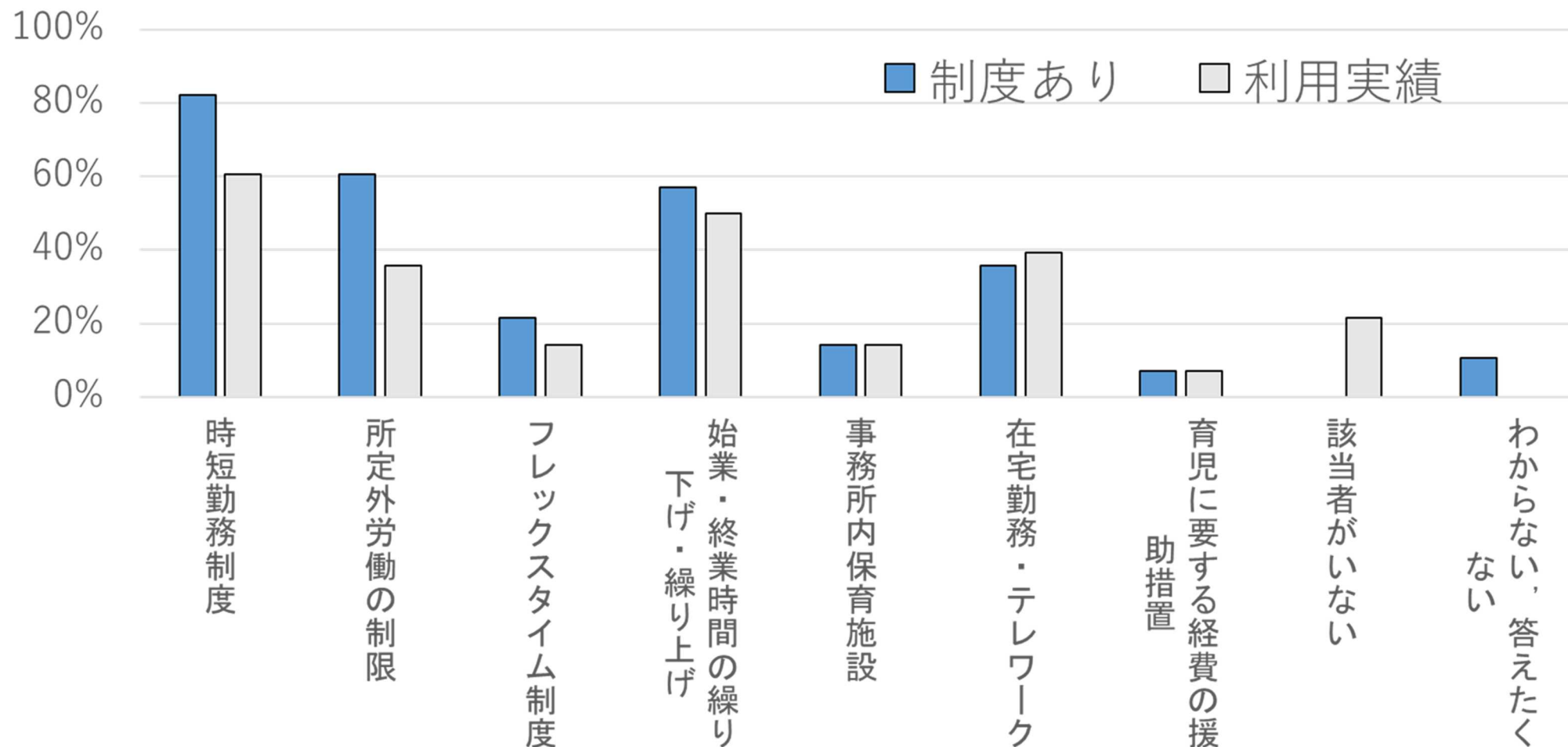
男性育休の積極的推奨は2割に留まる

15. 男性の育児休業制度についての貴社のお考えとして、最も近いものはどれですか。



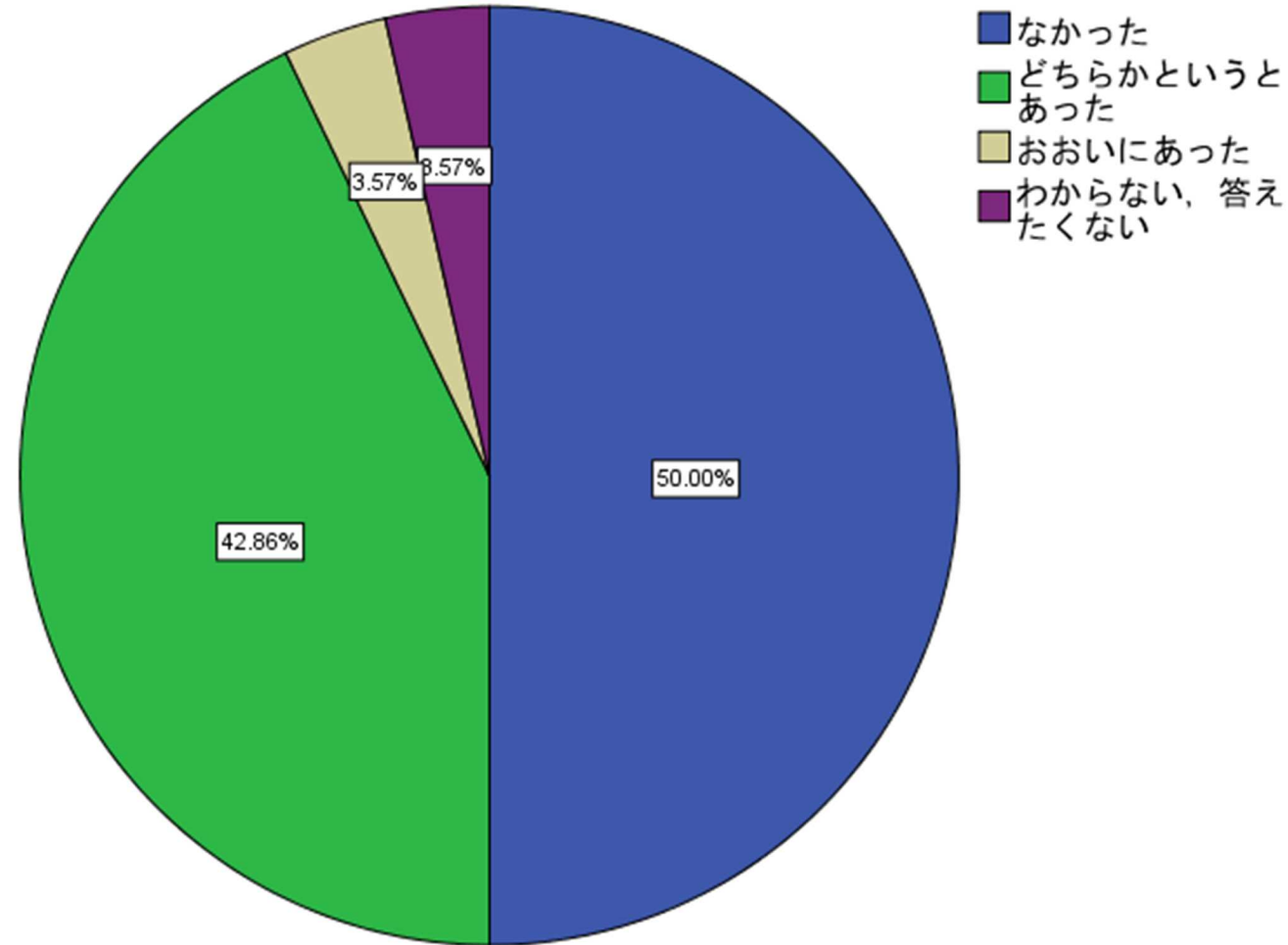
企業からの
回答

テレワークの利用広がる



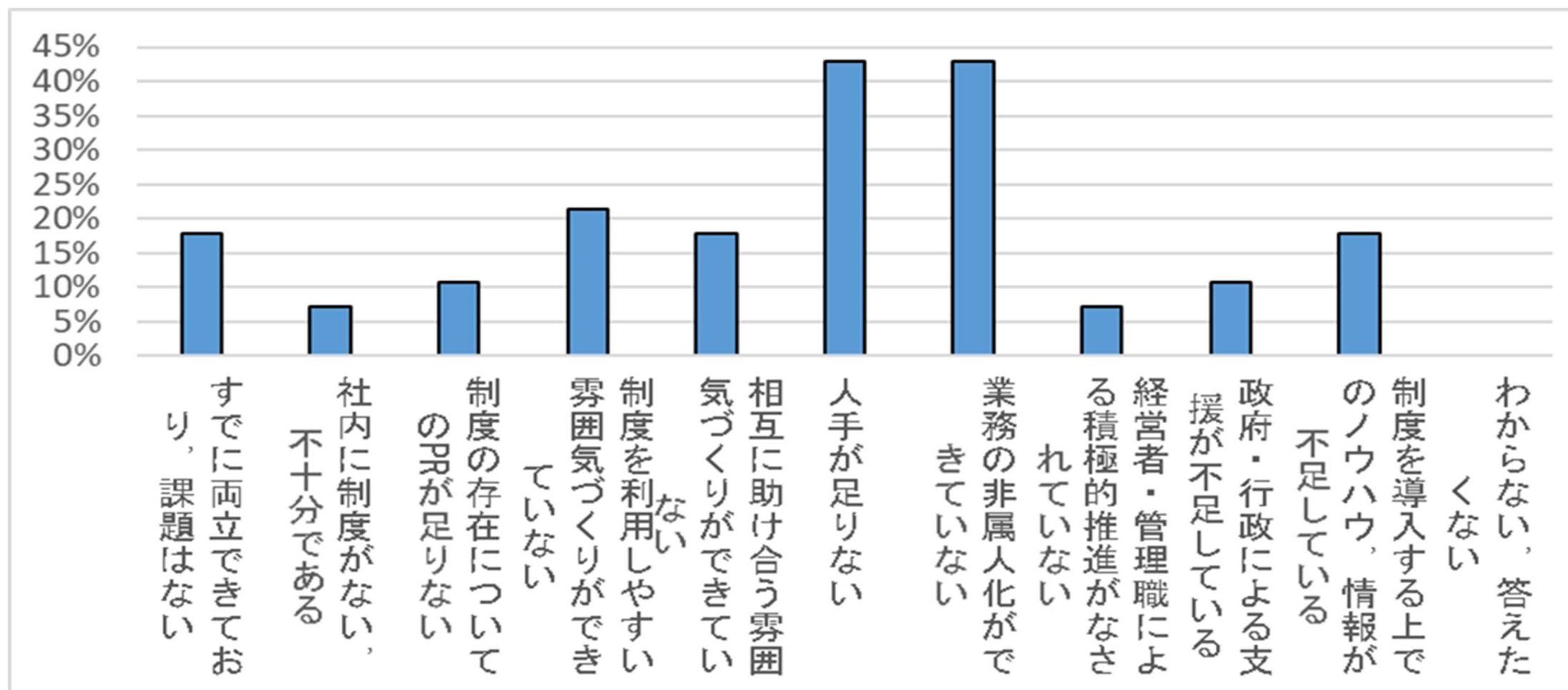
コロナ禍により46%で環境改善

20. コロナ禍をきっかけに、結果として「仕事と子育ての両立」に役立つような変化はありましたか。例：在宅勤務や時間差出勤制度の導入など

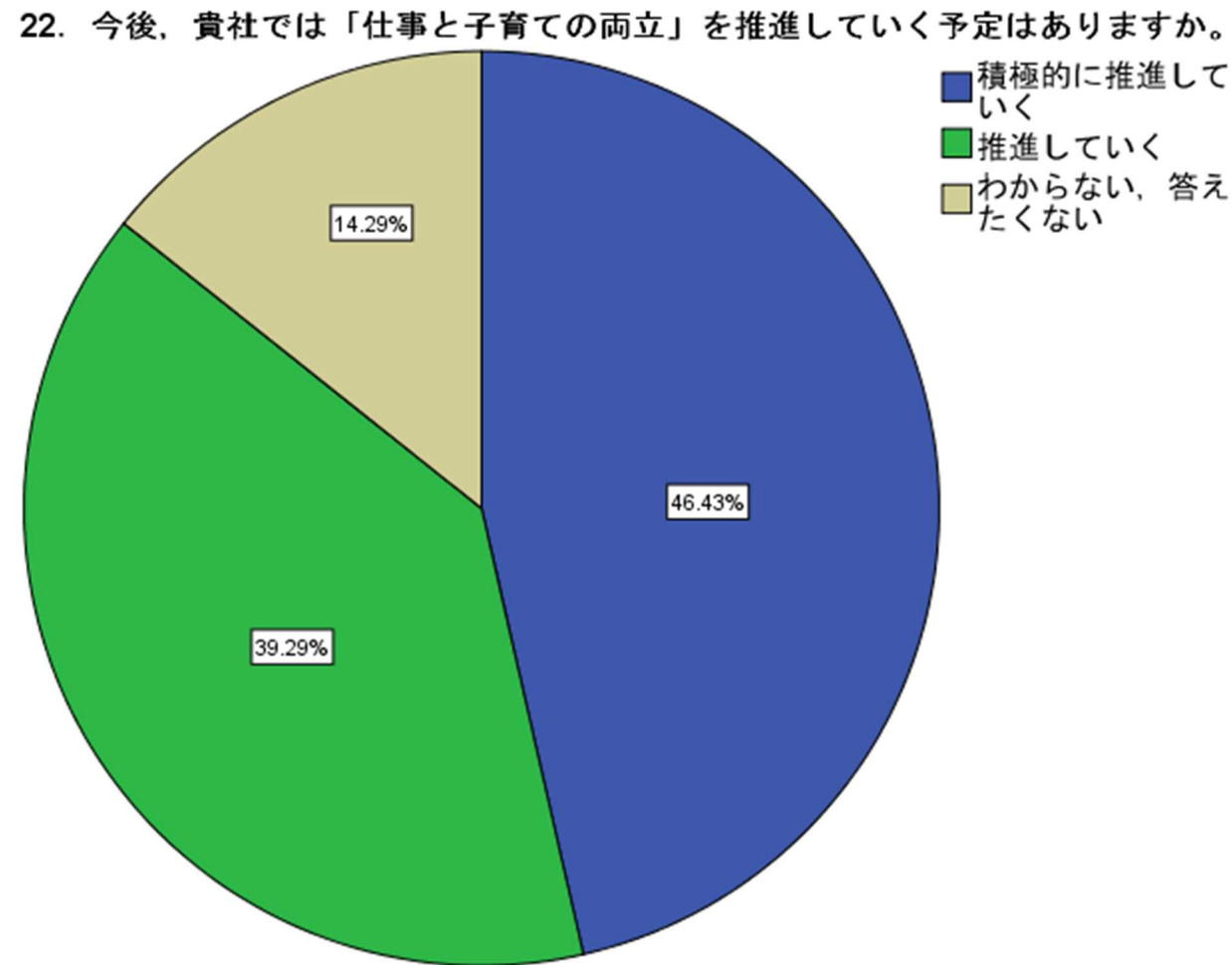
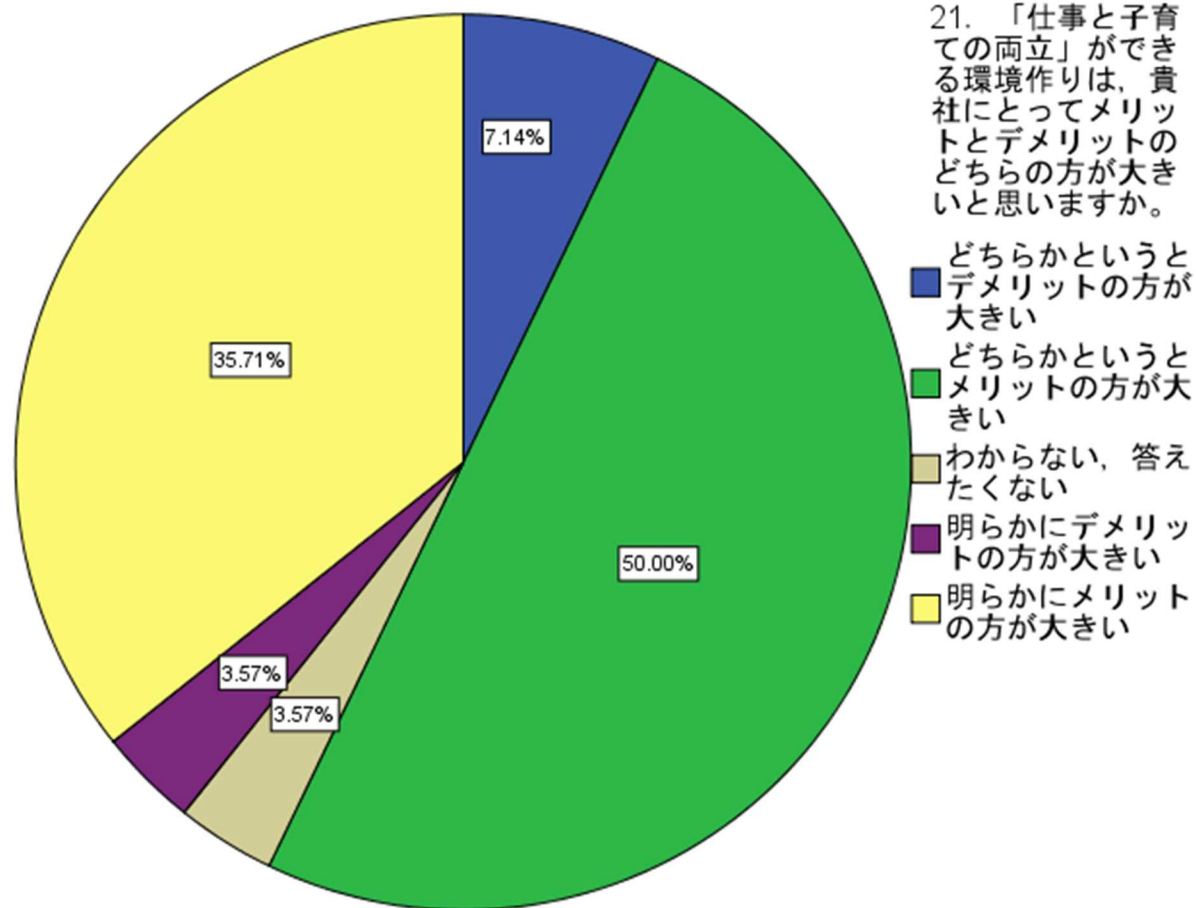


企業から
の回答

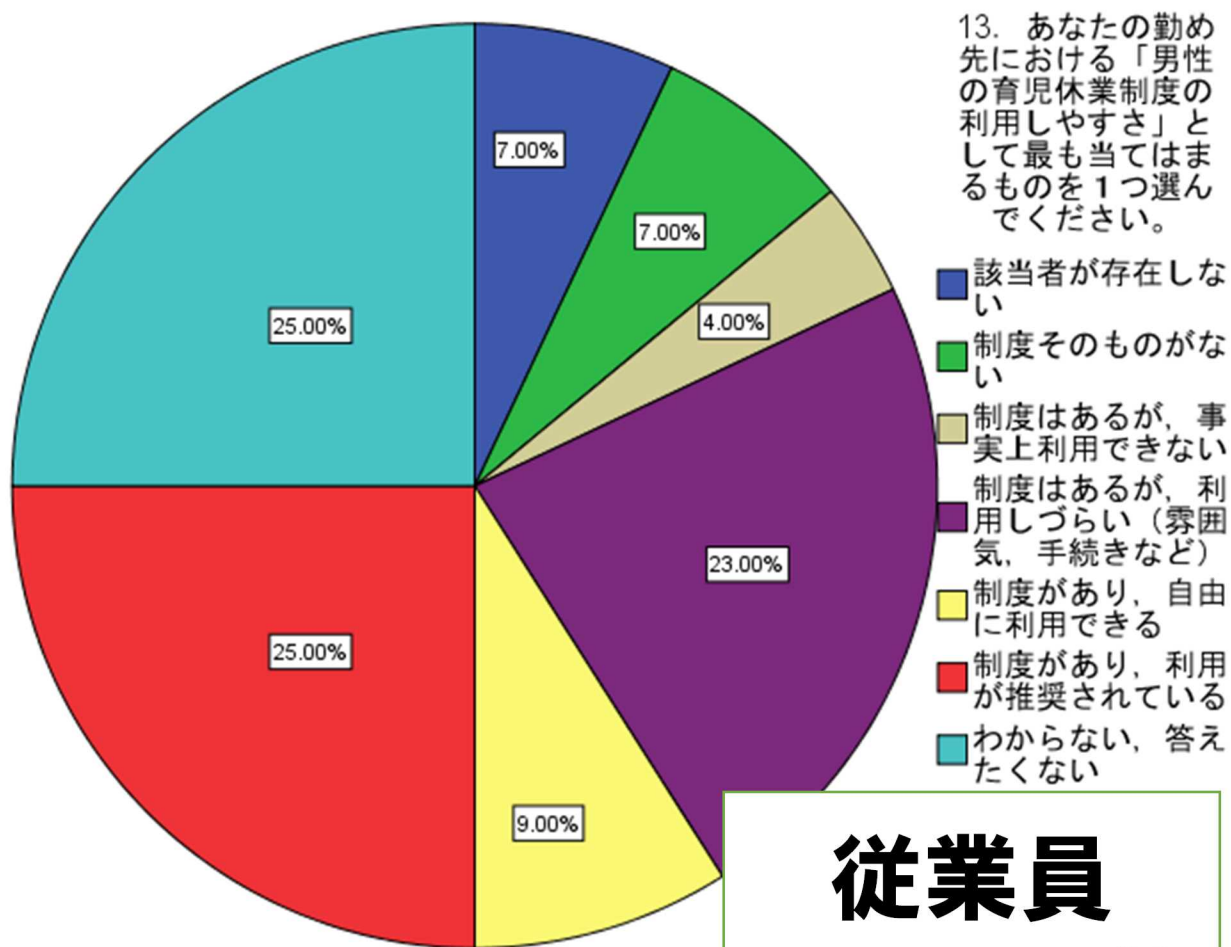
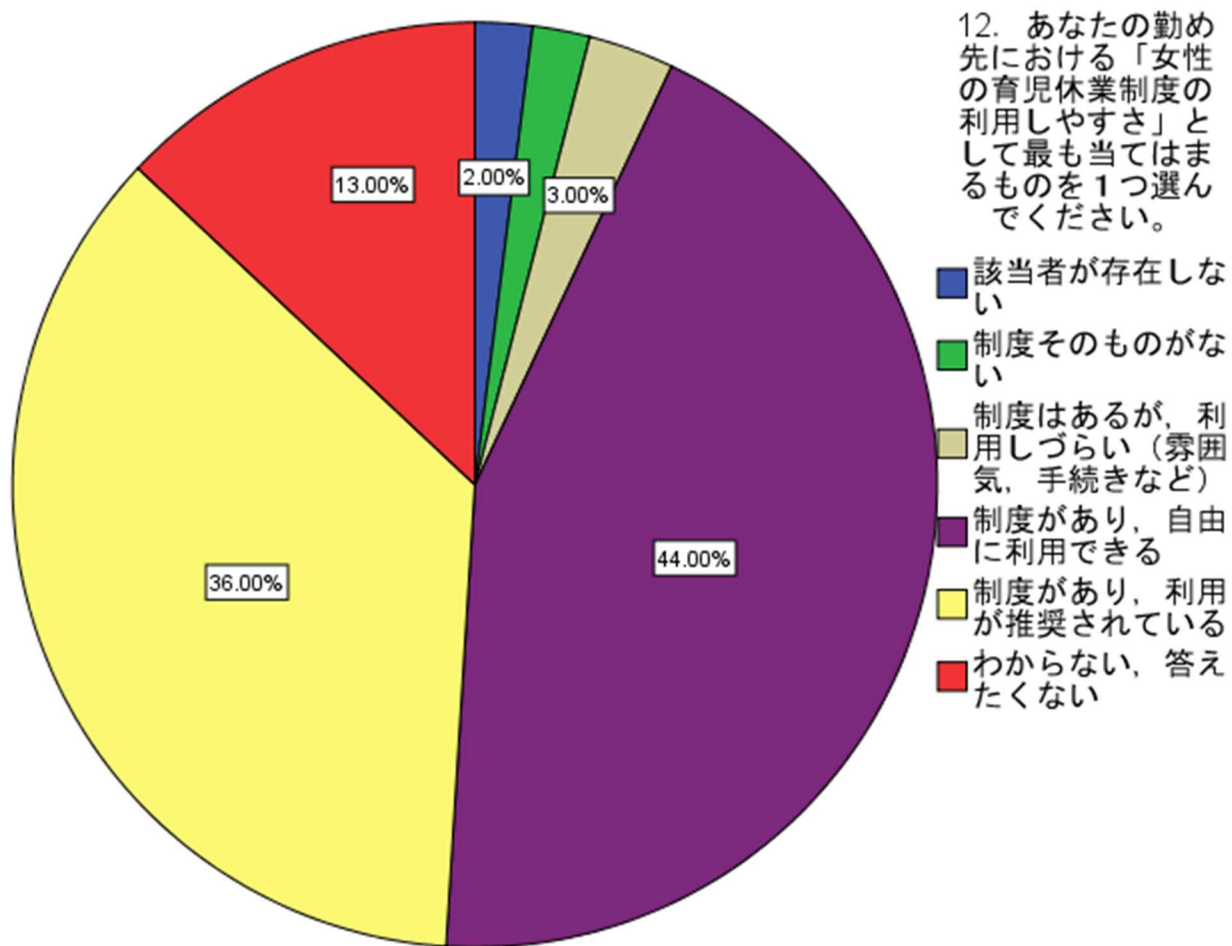
企業の人手不足は深刻



両立は企業にメリット, 改善進む

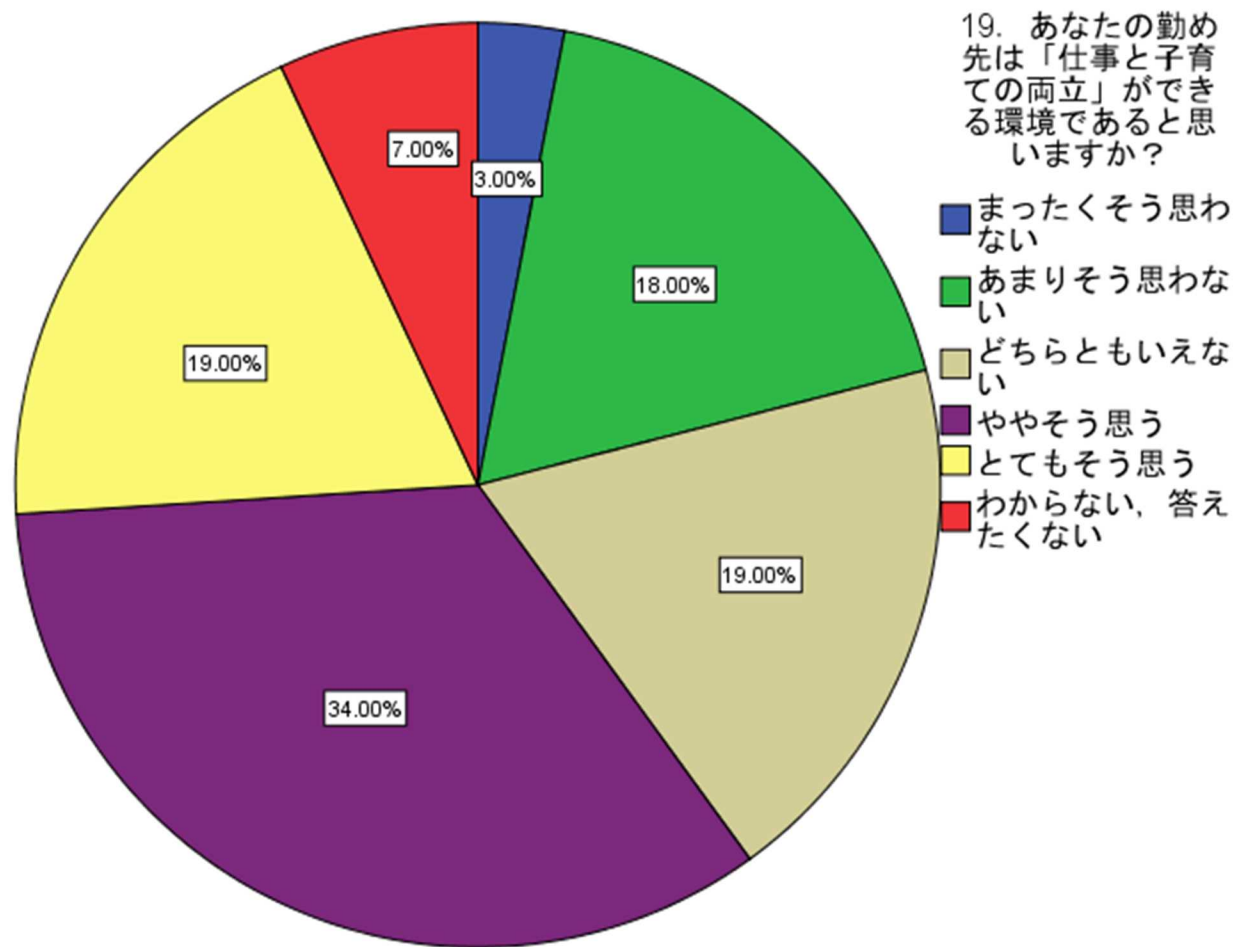


男女間で育休の「利用しやすさ」に違い

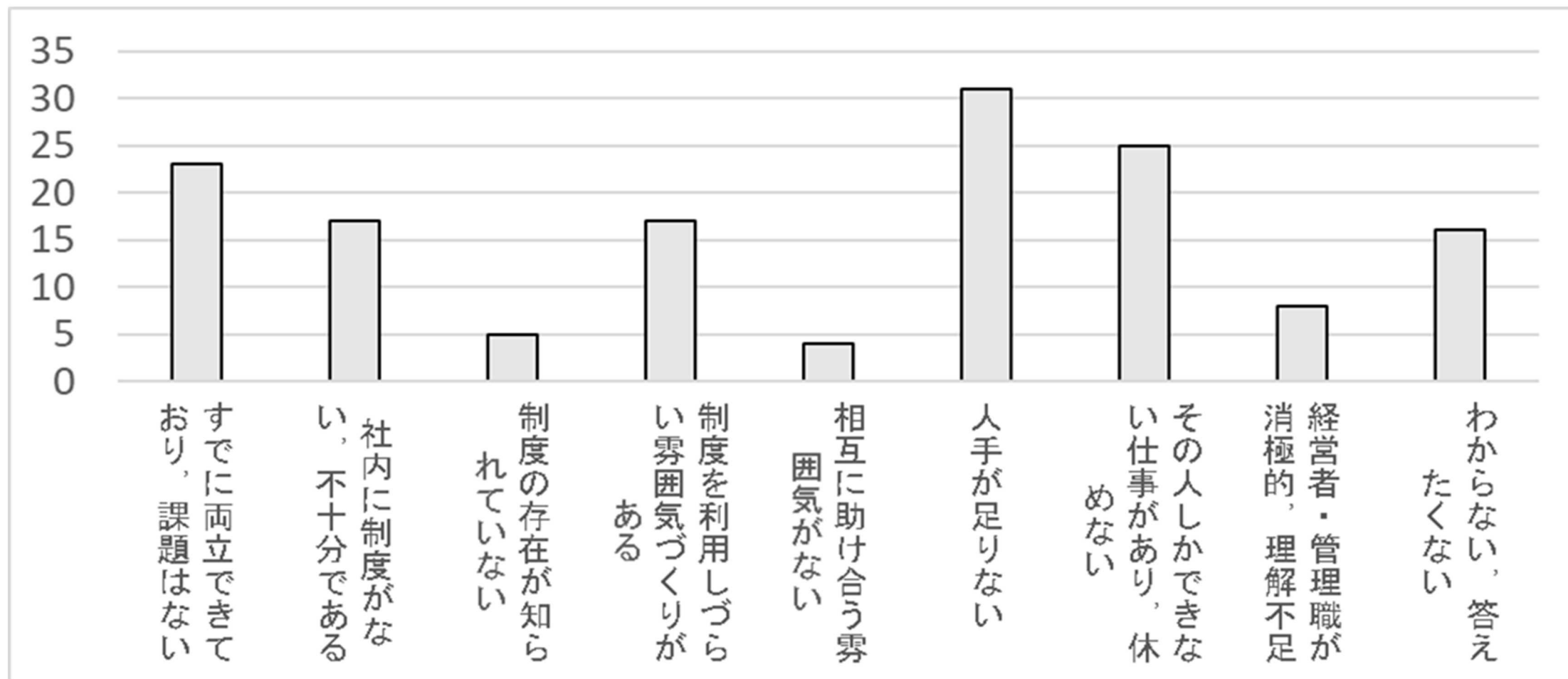


**従業員
からの回答**

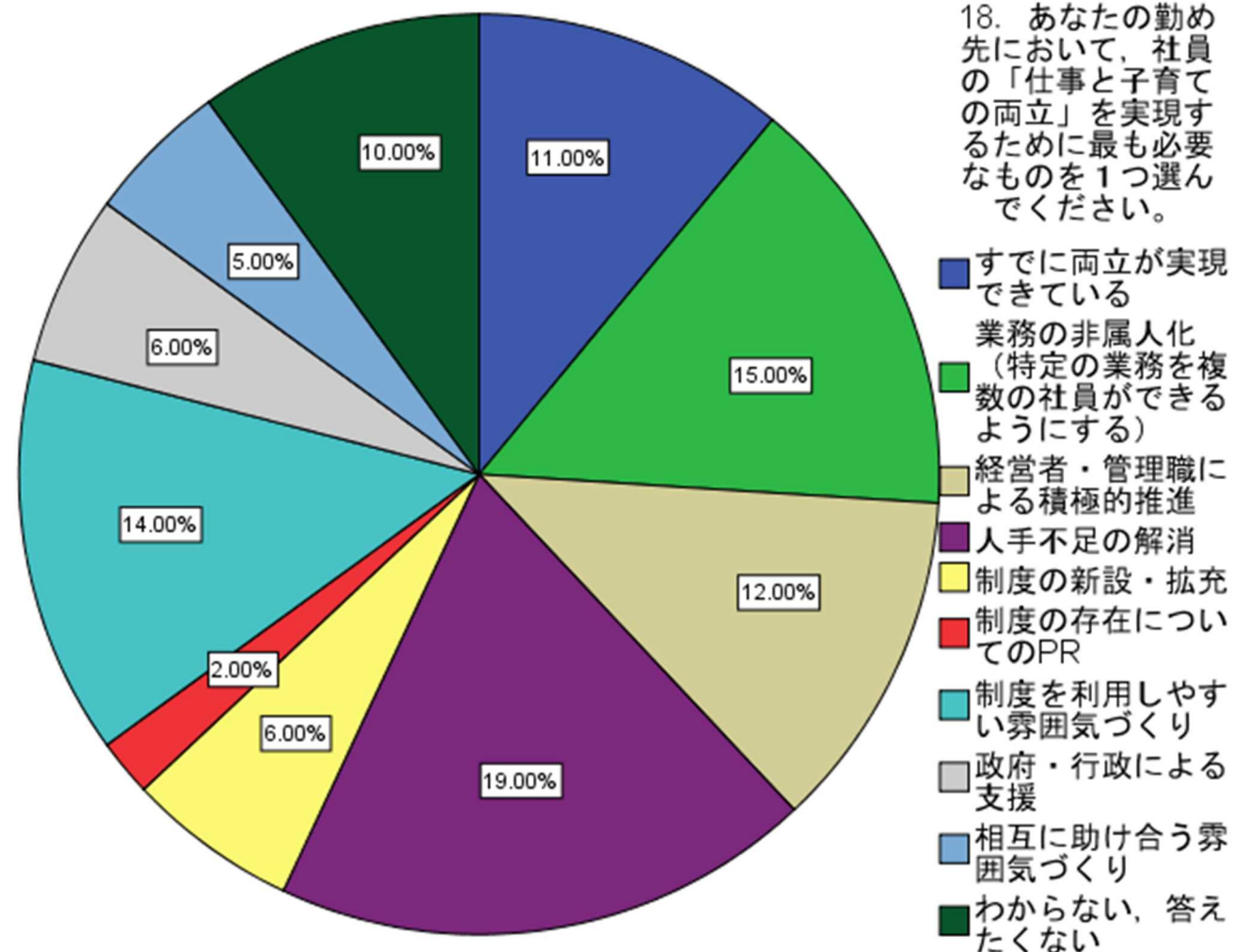
仕事と子育て両立実現は53%



両立できない原因は「人手不足」



両立実現には、人手不足解消と環境作り



**従業員
からの回答**

調査を終えて

- ①従業員より企業がメリットを認識
- ②仕事と子育ての両立促進に追い風
 - ・人手不足
 - ・コロナ禍
- ③企業にとってのインセンティブ
 - ・「働きやすさ」の見える化



調査を終えて

④調査から漏れ落ちた声

⑤改善を一過性で終わらせないために